



## 要介護認定事務にA Iの言語処理技術を適用した 実証実験の最終報告会を開催します



ターゲット 3.8

令和2年7月16日

郡山市保健福祉部

介護保険課

担当：七海 満

TEL：924-3021

SDGs ターゲット 3.8 「すべての人々に対する質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセスの実現」

株式会社N T Tデータ東北様と郡山市が共同で実施してまいりました、要介護認定事務にA Iの言語処理技術を適用させる実証実験の最終報告会を開催します。

- 1 日 時 7月27日(月) 午前10時00分
- 2 場 所 市役所秘書課庁議室(本庁舎2階)
- 3 出席者 株式会社N T Tデータ東北  
代表取締役社長 濱 功明 様  
公共事業部 事業部長 秋元 聡 様  
公共事業部 営業部 課長 相場 映希 様  
郡山市長  
保健福祉部長

#### 4 実証実験の内容

現在、人の目で行っている要介護認定調査票の確認作業を効率化するため、実際に認定を行った過去の調査票の結果をA Iに学習させ、特記事項の記載内容から、基本調査項目で選択妥当な項目を推定するA Iを作成し精度を検証します。

#### <経緯・背景>

日本はいま、急速な勢いで超高齢化社会を迎えています。介護を必要とする方も、2020(令和2)年3月末日現在で668.6万人おり、介護保険制度が開始された2000(平成12)年の256.2万人と比較すると、およそ2.6倍にも増加しています。

要介護認定者数の増加は、保険者にとっては事務量が増えることであり、本市においても、年を追うごとに担当職員の負担が大きくなっているところでした。

そのような中、「働き方改革」や「生産性の向上」等、自治体にも労働環境の変化が求められるようになり、『限られた職員数で、増え続ける事務量を、どのように処理していくか』という難題の解決方法として見出したのが、目覚ましく進化し続けているI C T技術、特にA Iの活用でした。

『最先端技術で、市民サービスの向上と職員の働き方改革の両方を実現させたい』という思いから、株式会社N T Tデータ東北様と令和元年12月4日に協定を締結し、このプロジェクトを始動させることになりました。